

市民意識調査（単純集計結果）

<事務局まとめ>

この資料は、資料 4－2『市民意識調査（単純集計）』から分かること、推測されることをまとめたものです。

クロス集計の結果については、資料 5 をご覧ください。

1 犬山での暮らしについて

- ・地域でのつながりや支え合いを大切にしている人の割合は、平成 28（2016）年に実施した前回調査よりも低下したものの、ある程度高い水準を維持している。（H28 81.0%→R1 77.6%）【問 2】
- ・犬山のまちに愛着を感じている人の割合は、前回調査よりも微減したものの、ある程度高い水準を維持している。（H28 82.5%→R1 81.4%）【問 3】

3 みなさんの暮らしについて

- ・市民活動に参加する人の割合（8.7%）は変わらないが、地域活動に参加する人の割合は低下。（H28 58.2%→R1 52.4%）【問 18、19】
- ・外国籍の人の接する機会がある人の割合は、まだ高くはないが、大幅に増加。（H28 9.0%→R1 15.3%）【問 20】

5 行政の取り組みについて

- ・犬山市が移住施策を実施することについては、過半数（59.5%）が賛成。【問 38】

7 犬山市の住みやすさについて

- ・犬山市に住み続けたい（「これからも住み続けたい」と「住み続けたいが他の場所に移るかもしれない」と回答した人の合計）と回答した人の割合は 91.0%と非常に高い。加えて、市内の他の場所に移りたいと回答した人が 5.4%。【問 45、48】

	住み続けたい理由 上位	住み続けたくない理由 上位
1	災害が少ない（45.4%）	買い物や外食が不便（56.4%）
2	緑が多い（41.5%）	公共交通の便が悪い（46.2%）
3	愛着がある（32.9%）	愛着がない（24.4%）

8 買い物について

※ この設問は、最も機会が多いもの1つに「○」を付けるものであったため、複数に「○」をつけた回答を無効として取り扱った結果、他の設問に比べ無効が多い。

- ・買回品（紳士服、婦人服、スポーツレジャー用品、電化製品など）を市内で購入する人は、18.1%。扶桑町（17.3%）や小牧市（10.8%）、名古屋市（9.7%）に流出している。通信販売を利用する人も一定数（7.2%）存在している。
- ・準買回品（下着、園芸用品、化粧品など）は、41.6%の人が市内を利用。扶桑町（11.4%）、小牧市（8.5%）、大口町（6.2%）等、近隣市町への流出も見られる。
- ・最寄品（台所用品、日常食糧品など）は、市内利用が半数を超える（63.1%）が扶桑町（8.2%）、小牧市（6.2%）、大口町（4.0%）等、近隣市町への流出も見られる。
- ・贈答品（お中元、お歳暮、結婚祝、出産祝など）は犬山市内を利用する人が26.1%。それに名古屋市（19.2%）、通信販売（10.3%）が続く。

10 犬山市の魅力について

- ・総合的に犬山市あるまちだと思ふ人の割合は、微増してはいるもののまだまだ低い。（H28 66.8%→R1 68.7%）